ET 情報開示への米国政府の姿勢

大統領との最後の会見でも、ヴァルは永続的な成果を得られなかった。ヴァルは自分の提案を世界じゅうの人びとに知ってほしがったが、国防長官、中央情報局（CIA）長官、軍の参謀総長たちが彼の意向に異を唱えた。
大統領は、国連総会の前に両院合同会議に諮ろうとした。しかし、この発案も拒絶された。（p63）

故郷の惑星に帰り着くと（注：1960 年春のこと）、ヴァルは中央管理機構（セントラル・コントロール）議会に出席して地球訪問に関し報告し、人類に助言と助力を与えようという申し出をアメリカの指導者たちに“受け入れ”させることに失敗したと伝えた。（p67）